

さくちゅう

桜山中だより

9月

厳しい状況下だからこそ、強く優しくなろう

桜山中学校長 久林 直美

緊急事態宣言下でのスタートは全校放送でした。年度当初よりも現在のコロナの感染拡大状況は厳しいです。そんな中、始業式では、桜山中生さくちゅうせいのみなさんがとても大切に歌っている校歌についての新聞記事を紹介しました。当時では珍しく、生徒によって作られた詩であることから、当時の生徒の主体性は、今でも伝統になっていると思われます。また、東京オリンピックの話題は、トップアスリートのインタビューに注視してみようと終業式に触れました。メダリストは、結果に至る過程で、陰となって支えてくれた人や、周囲で応援してくれる人たちへ感謝の気持ちを聞き、感動した人もいます。

今の私たちの日常の生活では、これまで当たり前できていたことが、今後どうなるのかわかりません。しかし、先生方はこれからの行事や学びを止めないようにその都度何ができるのかを考えて方向性を示していこうと思っています。いつものようにできないことが、どうしようもない気持ちになることもあるとは思いますが、しかし、今できることを考えて実施していくためには、日頃からみなさんが協力して、感染防止のための行動をまじめに取り組まなければいけません。オリンピックメダリストのインタビューのように、見えないところ、知らないところでみなさんのために支えてくれている人がいます。できないことに怒りを向けたり、嘆いたりするのではなく、できることを一人一人が協力して学校全体がワンチームとなって、今こそ、強く、優しくなろう！

学年別体育大会

9月30日(木)に各学年2時間ずつ体育大会を行いました。自分の種目を精一杯頑張り、仲間を拍手で応援する姿がたくさん見られ、クラスや学年の絆を深められたと思います。この絆を桜山合唱祭へと生かして行ってほしいと思います。

